

ティ・エス テックのあゆみ

1960年の設立以来、私たちは60年以上にわたって自動車内装部品の開発・生産に取り組んできました。長い年月をかけ培ってきた技術やノウハウ、世界13カ国に及ぶグローバルネットワークを強みとして成長し続け、「座る」に関するさまざまな製品を供給しています。

主要な製品群

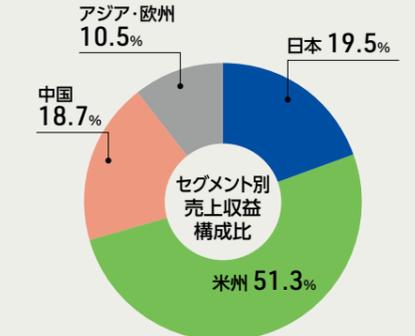
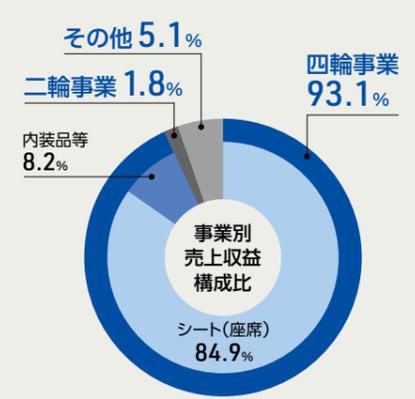


1960 東京シート株式会社 設立 前身の帝都布帛工業株式会社より二輪車用シート事業を引き継ぐ



売上収益(連結)
4,417 億円

営業利益(連結)
175 億円



2024年3月期

*2022年4月にプライム市場へ移行

▶ 品質への挑戦

ティ・エス テックにとって四輪車用シートづくりの原点ともいえる、ホンダ初代CIVIC用シート。表皮の縫い目破れや、当時は日本人のみを想定して設計したことで、極端に大きな体格の方が乗るとシートフレームが変形するなどトラブルが頻発しました。こうした、トラブルを即座に社内共有し迅速に改善するシステムは、現在でも活かされており、当時の苦い経験が品質への強いこだわりへと受け継がれています。



▶ 快適性の追求

人によって感じ方の異なる快適さや疲労度などの官能性能を定量化し、人間工学に基づいた研究を重ね、快適姿勢の独自理論を製品に反映するなど「快適で疲れにくい」シートを追求し続けています。



▶ 強固な収益体制へ

事業拡大が進むにつれ、世界規模の金融危機や各国で起こる自然災害など、外部環境の変化から受ける影響はより深刻なものとなりました。そのような変化にも耐えられるよう取り組んだ、生産ラインの自動化技術をはじめとする徹底した開発・生産の効率化が、現在のティ・エス テックグループの収益性の基盤となっています。



▶ 新たな価値創出

大きな変革期を迎えた自動車業界において、自動車に求められる機能や価値は刻々と変化しています。そのような中、これまでのシートやドア単品での開発にとどまらず、自動車の車室内空間を一括でコーディネート可能な「内装システムサプライヤー」を目指し、他企業との提携や共同開発を駆使して、新たな価値創出に取り組んでいます。

